

## 蓮池薫さんの講演



さる3月25日曜日、大竹市玖波公民館で拉致被害者の蓮池薫さんの講演会がありました。市の公報に案内があり定員が80人と言うことでしたのですぐに申込み、セーフ。会場に行ってみれば会場一杯300人以上の人。改めて関心の高さが伝わってきました。蓮池さんから拉致された時の話、北朝鮮に渡ってからの生活や北朝鮮の対応など聞くと、いかに北朝鮮がずさんで稚拙な計画で拉致を行っていたかが分かり、こんなことで多くの拉致被害者の人生を奪ってしまったことに改めて怒りが湧いて来ました。蓮池さんは私と一つ違いの60歳。私も学生で東京にいた頃に拉致され24年間自由を奪われていたかと思うと、これまでの自分の人生と重ね合わせた時、一人の日本人として何ができるのか考えさせられました。やはり、報道では伝わらないことも直接聞けば受け取り方も随分と違うもんだと実感です。(啓)

## \*\*近況報告\*\*今回は先日行った健康診断より

毎年、2月～3月にかけて健康診断を行っております。若い35歳までは市中の病院で健康診断、35歳以上は広島西医療センターで生活習慣病検診を受けます。さて、どのような結果だったのかご笑覧～

- ・里さん：70歳を迎え血圧が高いとかありますが、何と体内年齢は驚きの45歳！こりゃあと10年は頑張ってもらえそうです！
- ・私(河野)：10年前に体重を落とすスマートになったと自負していましたが、診断の判定は「肥満」！勿論毎年恒例、肝機能・尿酸値は期待通り高値安定でしたが、「肥満」の判定は改ざんがあったのではと疑っています。
- ・竹内君：何と血圧が上が180とか。家で測ると140なんじゃが看護婦さんに測ってもらおうとグンとアップするとぼやいていました。今年60歳を迎えるのですから、そんなドキドキは無いと思うのですが・・・
- ・西村君：毎年健康診断で話題を振りまいてくれます。今年も体内年齢は社内最高齢者。肝機能などなど立派な高値で、長老と呼ぶにふさわしい体となっています。
- ・宮本君：何と検診日を忘れてしまい、朝ごはんを食べてしまったため検診できず。健康に自信があるのは分かりますが、記憶力の方が問題です。早めに治療ですね！
- ・河野(大)君：尿酸値が8.0と痛風になっても不思議はない値。しっかりと体質を先代から引き継いでいるのは立派としか言いようがありません。
- ・太田君：入社当初から中性脂肪・コレステロールが高く、食生活と運動不足のようですが、本人は学生の時アルバイト先だったファミリーレストランのまかない食のせいだと言い張っています。でもそりゃ12年以上前なんじゃが・・・
- ・中谷君：入社1年目22歳のスリムな中谷君。何の問題もないかと思えば太田君の逆で中性脂肪が低すぎ、しかも血が濃い過ぎ。こうなってくると健康診断は心配の種を作るばかりで、いかがなものかと  
と男性社員を見渡せば、全員問題だらけではありますが、一同体に気を付けて今年もガンバロウ！(啓)

## <感謝>

先日外壁塗装の現場が終わり、担当者と最後の確認に伺った折私が「施工で何か気になることはありませんか？」と伺うと「社長がいると言にくいけど」と言いつつ話をしていただきました。それは施工中施工状況の確認に工事担当の者などがあまり来てくれなかったとのこと。「私は工事をゲインアンハウスに頼んだんであって、職人さんに頼んだのではない、仕事はちゃんとやってくれているけど、そこのところをもっと大事にして欲しい。」と言われ、親しいお客様に甘えてしまっていたことを担当者共々大いに反省しました。言にくいこととお話ししていただいたことに心から感謝するとともに、お客様に育てていただいていることを社員共々実感させていただきました。勝手な話ではありますが、これからもお気づきのことがございましたら遠慮なくお伝えいただきたいとお願い申し上げます。(啓)

「住いの困った」は ゲインアンハウス 大竹店・廿日市店共に  
フリーダイヤル0120-505-375 URL:<http://www.geinan-house.co.jp/>  
最後までお読みいただき有難うございました、次回は7月の予定です。(啓)  
\*尚、この「住みいる通信」がご不要の方はご一報願います。送付を停止いたします。



河野



みなさんこんにちは！この通信が届いている頃には既に桜の満開も終わった頃でしょうか？今年冬の寒さが特に厳しく、水道管の凍結の修理も多かったので、春が駆け足でやってきたような感じがします。皆様におかれましては、お変わりございませんでしょうか？

上の写真は東京築地の浄土真宗の築地本願寺です。本来なら建物探訪でちゃんとご紹介したいところですが、今回は紙面の関係でこちらで紹介します。この建物は移転で話題になっている築地市場のすぐ近くにあり、鉄筋コンクリート造で1934年に建造されたインド様式の建物です。日本の寺院建築なのにインド様式化と疑問に思いますが、当時の法主大谷光瑞は仏教遺跡発掘調査のためインドに調査隊を派遣し、自らも奥地へ分け入ったという方で、この大谷法主と交友のあった建築家伊東忠太が設計した建物です。大谷法主のインドへの思い入れが強かったことが分かります。

さて、そんな東京築地本願寺に行くことになったのは、母と私の姉妹で「母の元気なうちに行きたいところへ皆で行こう！」と言うこととなり、2月に私の出張に合わせて母の希望するディズニーランドやスカイツリーに「冥途の土産旅行」と題して上京してきた次第です(勿論母がスポンサー)。この築地本願寺は5年前に亡くなった義兄(姉の主人)が若いころ務めていたことがあり、上京するなら姉が是非お参りしたいとの希望で行って来ました。本堂で手を合わせ目をつぶると不思議と亡くなった義兄や父が現れ、亡くなった二人が私たちを連れて来てくれたんだと思ってきました。今回の旅行で一番良かったのは岩国空港から乗った飛行機。事前に母が足が悪いので車いすの手配をお願いしていましたが、優先搭乗は期待通りでしたが、機内でも添乗員の方が母に折に触れて声をかけて下さり、飛行機から出るときは手書きのメッセージカードまでいただき、母は大喜び。私も年に3,4回は乗っていますが、こんな厚遇は受けたことがないなあと、ヒガミ根性がチヨイと出るほどでした。

さて、4月から平成30年度。社内は移動もなく大竹店・廿日市店昨年同様の体制で頑張りますので、引き続きのご愛顧のほどよろしくお願ひ申し上げます。(啓)

## ホームページの施工事例から



弊社のホームページについてご紹介します。現在のホームページは3年前にリニューアルし、施工事例は特徴的な現場を中心に50現場ほど紹介させていただいています。昨年、ホームページがどのように見られているかを調べるアクセス解析ができるようになり、定期的に見てきました。左の表は直近一か月のアクセス解析の結果です(太字が施工事例)。トップページが一番見られていることは当然だと思いますが、昨年末から気になっていたのが会社概要などよりも多く見られている施工事例(左の写真)があることです。

この施工事例は14年前に行ったもので、介護施設に入っておられたお母様を介護するための部屋を、母屋とは別棟に増築した事例です。確かにネットで「介護 増築」というキーワードで検索すると上位に出てくるので、全国の「介護 増築」を調べられている方に見られていることが分かります。とうとう先日東京の方からこの施工事例について電話があり、色々説明をさせていただきました。

今は何でもネットで調べる時代ですので、多くの人にヒットされるように施工事例のタイトルも研究しないとイケないことがよく分かりました。施工事例も少しずつUPしていますので、時には見ていただければ幸いです。

順位	ページ名	アクセス数
1	トップページ	308
2	<b>お母様の介護がしやすい専用部屋を別棟増築</b>	60
3	会社概要	56
4	ゲイナンハウス大竹店(本店)	49
5	スタッフ紹介	42
6	施工事例	37
7	ゲイナンハウス廿日市店	33
8	お知らせ	17
9	駐車場上に庭を	17
10	イベント	16
11	私たちが大事にしていること	16
12	住まいるクラブ・サポートクラブ	14
13	築50年の住まいを減築再生	11
14	エレベーターを付けて、孫と安心して暮らせる住まいに	10
15	築40年 全面改修工事で基礎・構造補強等を行い、住宅を再生!	10

## 美味しいラーメン店



和木：比翼さん



佐伯区：味喜さん

先日飲み仲間の友人と飲んでいると「ラーメン」の話題となり、友人のFさんが「和木に「比翼」(ひよく)って言う美味しいラーメン店があるの知ってる?」と言いだし、そこにいた諸氏もそのラーメン店があることは知っていましたが、行ったことのある人が居ませんでした。するとFさんはラーメン好きなTさんに「そりゃあ是非食べてもらいたい!」と高らかに宣言し、何故か急遽翌日の昼に食べに行くこととなりました。ご丁寧にFさんが車で迎えに来てくれ、店の席も予約してくれるほどの力の入れよう。さて、店に着き注文して待つこと10分出てきたラーメンは懐かしい食べられたスープに細麺。とても美味しくいただき、近くに美味しいラーメン店があることを再認識。その行き帰りの車中で話題になったのが佐伯区のラーメン店「味喜」(みき)さん。なかなか分かりにくい店らしいのですが、美味しいことあの地域では話題の店とか。と話を聞くと行ってみたいくなるのが人情というもので、日曜日に家内と広島に行く途中に行ってみました。なんとスープを「まぐろ さんま あご えび ほたて」から選ぶようになっていて、初めてですから店の人が進める「さんま」をお願いしました。出てきたラーメンのスープをすすると濃厚なさんまのだしが効いた味に、こちらも少し硬めの細麺。周りのお客は常連さんのようでよみみなくスラスラと注文されていました。なるほどこちらもおいしいラーメンでしたが、車中で聞いたもう一店が気になるので、行かねばなりません!(啓)

## 補助金を利用して 耐震補強工事施工事例

現在、市町村においては来る東南海地震に備えて耐震補強工事を行う際に補助金が利用できる制度があります。もちろんどの建物でも利用できるわけではなく、昭和56年以前の木造住宅が対象です。今年度、広島市と大竹市においてこの補助金を利用して耐震改修を行いましたので、その事例をご紹介します。

事例①は大竹市の築50年以上の住宅です。外壁のモルタルが劣化し剥離してきたため、外壁の改修に併せて外周部からの耐震補強を行いました。建物内の補強ができないため、安全と言われる評点1.0まで上げることはできませんでしたが、0.7以上に上げることができましたので段階的な工事として補助金を受けることができました。補強方法は、柱と土台及び桁との接合部を強度計算(N値計算)により適切な金物(左の写真)で補強をし、さらに外壁の下地を構造用合板を規定の方法(釘の種類と釘のピッチ)で施工することで補強しています。また、耐力を0.7以上に上げるために広縁に耐力壁を増設しその耐力を受ける基礎も壁に併せて作りました。今後、内部の改修に併せて耐震補強することで評点を1.0以上に上げる予定です。



着工前



使用した補強金物



補強金物



増設した耐力壁



完成状況  
外壁は補強の構造用合板の上にサイディングを施工し、塗装にて仕上げています。

事例②は広島市の築50年の住宅です。お客様は廿日市の宮園に住んでおられるのですが、宮園市民センターで行った私の耐震セミナーを聞かれ、広島市にある親元の住宅の耐震補強をされました。

現状を耐震診断を行ったところ評点が0.38と低く、倒壊の危険性が高い状態でした。

補強方法は左の写真のように、耐震診断に基づき補強箇所を選定し、床・天井を壊さなくても補強ができる鋼製プレスを採用しています。全体的には、鋼製プレスを4カ所施工し、併せて事例①と同様に柱と土台・桁の接合部を3カ所金物で補強することで、評点を安全な1.0以上まで上げることができました。



着工前



内壁撤去



鋼製プレス取付



内壁仕上げ



柱頭金物取付  
外壁モルタルを部分的に撤去し補強金物を取り付けています

この事例①が大竹市の耐震改修補助事業始まって以来、初めての補助金対象工事となりました。市の担当者も初めての事でしたので現場にも足を運び確認。施工写真は全ての補強箇所を撮らなければならないので、施工中現場の中谷君と何度も確認しながら進め、完了時の書類は結構な量となり、「補助金をもらうのも楽ではないなあ」とぼやきつつ作業をしました。とは言え30万ものお金は誰もくれませんからね!(啓)







